

取扱いの趣旨

歯根端切除手術は、病巣の発生原因となった歯根端を切除する手術であり、算定にあたっては当該手術に係る傷病名の記載が適切であることから、「歯根嚢胞（WZ）」のみでの算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【手術】 《令和2年9月28日》

63 歯根端切除手術

○ 取扱い

原則として、「歯根嚢胞（WZ）」病名のみで歯根嚢胞摘出手術と併せて行った歯根端切除手術の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

歯根端切除手術は、病巣の発生原因となった歯根端を切除する手術であるため、算定にあたっては、「歯根嚢胞（WZ）」病名に併せて、歯根端切除手術に係る傷病名の記載が適切である。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

歯根端切除手術を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（歯根嚢胞（WZ））に対して同日に歯根端切除手術と歯根嚢胞摘出手術を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、歯根端切除手術が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

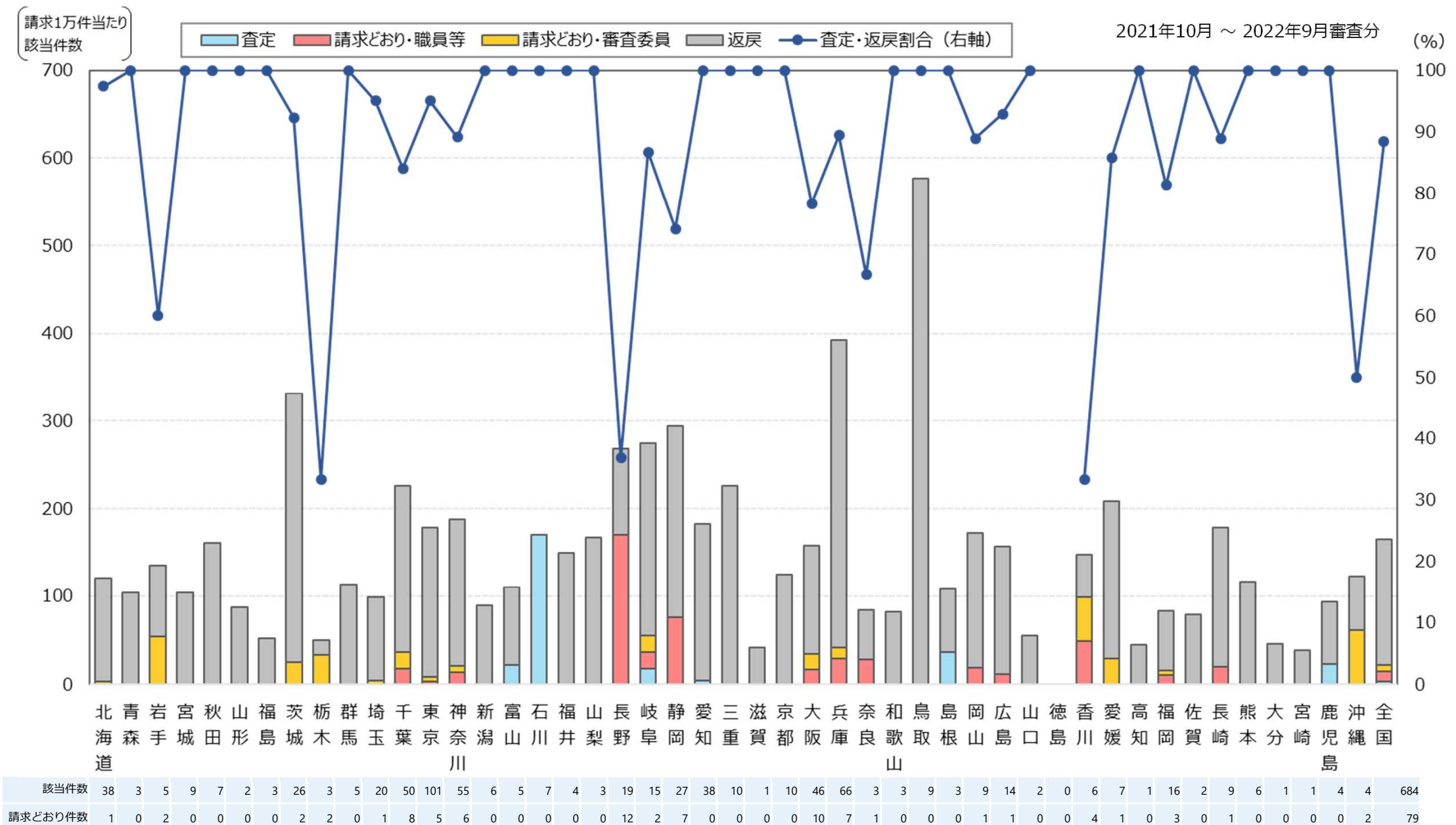
審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 88.45%
- 検証を必要とする都道府県 12

検証観点	検証を要する都道府県	備考
査定・返戻割合が低い都道府県	栃木、香川、長野、沖縄、岩手、静岡、大阪、福岡、千葉、岐阜、神奈川、兵庫	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員等	長野、静岡、香川、兵庫、岐阜、千葉、大阪、神奈川、福岡	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	沖縄、岩手、香川、栃木、岐阜、千葉、大阪、兵庫、神奈川、福岡	//
該当件数（全国）	歯根嚢胞（WZ）に対して同日に歯根端切除手術と歯根嚢胞摘出手術を算定	684件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	605件
検証を必要とする審査	請求どおり	79件

事例63 「歯根嚢胞（WZ）」のみに対する歯根端切除手術の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】 歯根嚢胞（WZ）に対して同日に歯根端切除手術と歯根嚢胞摘出手術を算定しているレセプト件数